

笑顔の メイツセーシー

おかげ復元
納棺師がみた
つながる命



©RUIKO SASAHARA
ボブラ社

2013年2月3日(日)13:00~15:45
那須塩原市“黒磯文化会館小ホール”

ささはらるいこ
講師 笹原留似子さん

1972年、北海道札幌市生まれ。岩手県北上市在住。復元納棺師として株式会社「桜」の代表を務める。東日本大震災後、津波被害の激しかった沿岸地域で300人以上の遺体をボランティアで復元した。現在も納棺の仕事のかたわら、長期的視野に立った被災者支援の活動を続けている。2012年1月、社会に喜びや感動を与えた市民に贈られる「シチズン・オブ・ザ・イヤー」を受賞。

参加費無料 託児あり ※要事前予約。

※聴講には整理券が必要です。

整理券の受付・配布場所は下記の通りです。

地域生活支援センターゆずり葉

Cafe HOLIDAY

那須塩原市役所・各支所・出張所

那須塩原市保健センター各所

12月19日整理券受付・配布開始

主催 特定非営利活動法人那須フロンティア 共催 那須塩原市

いのちについて考える

今回のフォーラムの目的

全国の自殺者数は平成10年から急増し、平成23年の全国の自殺者数は30,651人となり、栃木県においても530名というデータが報告されました。前年に比べると減少はしたもの、他県と比べても高い自殺率となっている現状があります。また、全国的に若年層の自殺率が増加しており、平成23年には、学生・生徒の自殺者数が1,029人と初めて千人を上回った状況にあります。

厚生労働省の自殺対策白書では、自殺対策として「ひとりひとりが気付き、見守り、声かけなどのできることを行っていく取り組みの強化」を推進しています。そのためにも、まずは根本的なテーマである「命」についてひとりひとりが考え、「生死の問題」を誰もが共通する問題として捉えることが必要であると考えます。

そこで今回の第13回「那須フロンティアフォーラム」は、おもかげ復元納棺師の笹原留似子さんをお招きし、「命について考える」事をテーマとし「笑顔のメッセージ～おもかげ復元納棺師がみたつながる命～」と題したフォーラムを開催いたします。

笹原さんは、復元納棺師として損傷のあるご遺体を復元し笑顔に戻すことで、故人と遺族をつなぎ、遺族が故人の死と向き合えるよう支援されています。また、笹原さんは「死を見つめる事で“生”と向き合い、残された私たちの生きる意味を感じてほしい」と考え、執筆活動や命をテーマにしたご講演を数多くされております。今回の講演を通して、様々な方が命について改めて考え、自殺対策への一助となればと考えています。

笑顔のメッセージ～おもかげ復元納棺師がみたつながる命～

2013年2月3日(日)13:00～15:45
那須塩原市“黒磯文化会館小ホール”

■13:00～13:15

那須塩原市市長挨拶、NPO法人那須フロンティア理事長挨拶

■13:15～15:45 (途中休憩20分)

講演「つながる命」笹原留似子さん

参加費無料／託児あり※要事前予約

聴講には整理券が必要です。12月19日整理券受付・配布開始

整理券の受付・配布場所は下記の通りです。

地域生活支援センターゆずり葉

Cafe HOLIDAY

那須塩原市役所・各支所・出張所

那須塩原市保健センター各所

生前の笑顔宿しあ別れ

津波の傷整える納棺師思い出も復元

「こんなのお父さんじゃない！」3月
下旬、同県南部の遺体安置所で、笹原さ
んの耳に大きな声が響いた。

声の主は小学1年の男の子。津波の
後に見つかった30歳代の父親は、肌の
色も髪も失われ、かつての面影が消え
てしまっていた。

男の子の祖母や兄に頼まれ、笹原さ
んは父親の生前の様子を聞きつつ、眉、
まつ毛、肌、髪と復元を施した。
すると、男の子は突然「お父さん、あ
のね、今日ね……」と話しかけ始めた。
そして父親のほおに手を触れ、ボロボ
ロと涙をこぼした。

「親や子が生前の姿に戻った瞬間、生
きていた時の思い出に再会できる。悲
しみは、たくさん愛した思い出がある
から、懸命に生きてきたからだと気づ
くべき、泣いた後、また生きていく力にな
れる」と笹原さんは言つ。

納棺師は、遺体を清め、化粧などをし
て棺に納める仕事だが、笹原さんは
様々なワックスを用いて損傷を修復す
る復元技術も持つ。沿岸部では津波で
傷付いた遺体が多く、1人の復元に早
くて20～30分。硬くなつた肌を柔らかく
ほぐし、外国製の専門化粧品などを使
い面影を残す。笹原さんは最後に笑い
ジワを探して、穏やかな笑顔にする。

震災で亡くなつた人の火葬や葬儀に
対応した同県遠野市の「遠野葬祭」の
佐々木順一さんは、津波による死は、損
傷が大きく、通常の死とは違う。子ども
に親の遺体を見せられないと困つてい
た家族もいた。生前のお顔に戻す笹原
さんの活動は、遺族にはありがたかつ
たと思う」と話す。

そんな笹原さんでも、子どもの遺体
の復元が続いた時は、「なぜこんなこと
が起きるのか」と耐えきれない思いが
募り、僧侶に疑問をぶつけたりした。
「私たちの死生観がいま問われてい
る」と感じる。死ぬつて何か、なぜ生き
るのか、と」

(新聞記事より抜粋)

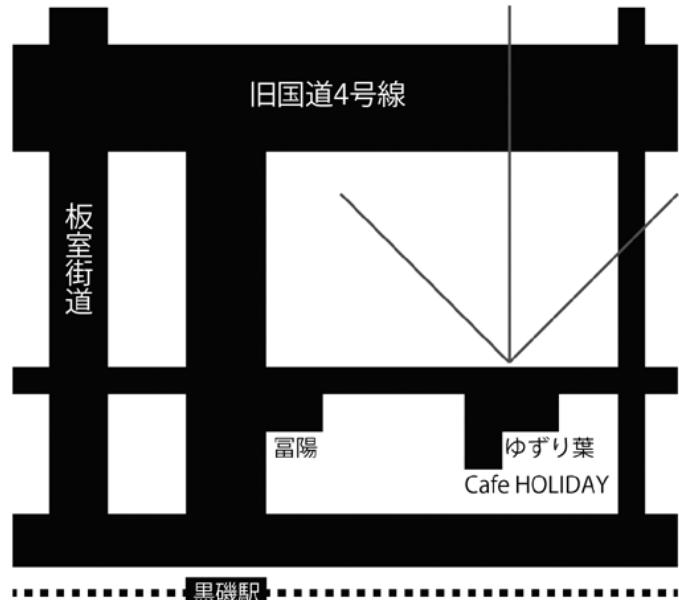


「おもかげ復元師」・ボプラ社

「おもかげ復元師の震災絵日記」・ボプラ社

会場で販売します。

地域に開かれた事業所です。



【問】特定非営利活動法人那須フロンティア

TEL. 0287-63-7777 (火～土曜日 9:00～18:00まで) FAX. 0287-73-7022 E-MAIL. frontier@io.ocn.ne.jp

<http://www.nasu-f.com>